

事業計画書概要版



県営 和光樹林公園

昭和20年米軍に接収された「キャンプ朝霞基地」の跡地の一部で、住環境の確保と、美しい都市景観の創出を図ることを目的とし、平成元年に開設された公園です。

位置：埼玉県和光市
開園：平成元年
面積：20.2ha

県営 新座緑道

快適な歩行者空間の確保と、美しい都市景観の形成を目的として平成5年4月に開設された、全長480メートル、幅10メートルの遊歩道です。

位置：埼玉県和光市
開園：平成5年
全長：480m

（1）管理運営に関する基本的事項

事業計画書4P

○管理運営に関する基本方針

私たちはこれまでの2期10年に及ぶ本公園の管理運営の中で、みどり資源を最大限に活用することで地域の方の暮らしがより豊かになること、そして、地域との連携・協働関係を強化して信頼関係を深めていくことが重要と考え、今期の基本方針を方針を以下の通り定めました。

3つの【わ】 ～人々の暮らしを支える公園～

めぐ みどり 環る空間づくり



- ①枯木伐採と樹林再生、ゾーニングマネジメント
- ②景観づくり
- ③充実した自然体験の提供
- ④森のカフェベンチ整備とみどりの余暇空間

わ 人の 輪による Well-beingな暮らしづくり



- ①子どもも大人も暮らしやすいまちの実現
- ②地域連携や協働によるまちのにぎわいづくり
- ③BBQやキッチンカー等の飲食サービスや
イベントによるにぎわい
- ④いつでも 誰でも 楽しめるプログラム

なご 心 和 む公園づくり



- ①充実した利用者サービス
- ②樹木管理のDX化
- ③地域防災レベル向上
- ④経年劣化する施設の修繕

○和光樹林公園パートナーズの体制



西武緑化管理
株式会社
(代表者)

活用する技術やノウハウ

トータルパークマネジメント
地域協働 地域活性
植栽維持管理 安全管理
イベントプログラム等

代表企業である西武緑化管理（株）は、埼玉県を活動の中核として地域に根ざした事業を展開する西武グループの会社です。西武鉄道沿線を中心とした首都圏において、緑のトータルクリエーターとして、造園工事・土木工事等の設計・施工・管理に携わり、公園や緑地、樹木、芝生等の育成、快適な緑空間の創出に寄与・貢献しています。



トータルパーク
マネジメント

- 評価システム
- コスト管理
- 市民協働
- 人材育成
- 施設維持管理
- リスク管理
- 植物管理
- 利用促進企画運営

西武緑化管理（株）のパークマネジメント実績

埼玉県営狛山和向山公園
埼玉県営彩の森入間公園
埼玉県営和光樹林公園及び新座緑道
埼玉県営みさと公園、吉川公園
西東京市立公園
(西東京いこいの森他 55公園)

西武緑化管理（株）が属する西武造園グループのパークマネジメント実績

国営昭和記念公園や国営武蔵丘陵森林公園をはじめ全国78箇所（564施設、令和7年4月現在）



株式会社
有山造園
(構成員)

活用する技術やノウハウ

施設維持管理
設備点検保守
緊急対応 修繕等

構成企業である（株）有山造園は、埼玉県で創業し、造園工事の施工や維持管理を中心に、地元に根差した地域貢献企業として、きめの細かい地域サービスを実施しています。埼玉県営公園の管理運営に約10年間携わってきており、蓄積したノウハウを活かして災害等の緊急時ににおける迅速な対応、地域のネットワークを活かした連携事業等を実施します。




(3) 管理運営計画

○利用者サービスの向上 SDG'sに配慮した管理運営

私たちは、ゾーニングマネジメントの手法を活用し、エリアごとの目標を設定しており、将来像を目指しながら、みどり豊かな和光樹林公園の管理運営を行います。

サクラ

・園内に最も本数の多い樹木です。10年前には多くのヤマザクラが枯れしていました。土壌の化学的調査を行いましたが、問題は見られませんでした。今後、ヤマザクラの植樹は控え、現在残るオシマザクラやソメイヨシノ、サトザクラが良好な環境で長生きできるよう、定期的な剪定管理を行います。

・シンダイアボノを植えた一部箇所は、草刈り回数を減らし、野草が生える区画です。土が踏み固められないため、サクラの根にとって良好な環境を維持できると思われます。実験的取り組みと結果の検証も行います。

ナラ類

・和光市が位置する武藏野台地らしい二次林（クヌギ・コナラ木）を目指し、育林していきます。指標として、クワガタ、カブトムシなどが見られる樹林を目指し、環境教育プログラムに活用していきます。

・園内や近隣のトネリ・種子から育てた苗を、地域の子ども達と一緒に植樹します。

・近年、埼玉県内ではナラ枯害が深刻です。本公園でも媒介昆虫が確認されています。定期的な伐採と萌芽更新により、樹齢と多様性をもたせても量枯死が起きないように備えます。



○樹木維持管理

■樹木等植物の現況及び展望

10年前の本公園は多量の枯木が広がる危険な状態でしたが、H28年度から枯木伐採をすすめ、安全確保した区域を広げてきました。下マップは伐採した区域と現在も残る閉鎖区域を示しています。閉鎖区域は約3.3haが残っています。今後は全面開放を長期的な展望として念頭におきながら、埼玉県とも協議を行い順次枯れ木処理を実施して、健全な樹林地へとしていきます。



枯木が多いエリアの伐採状況

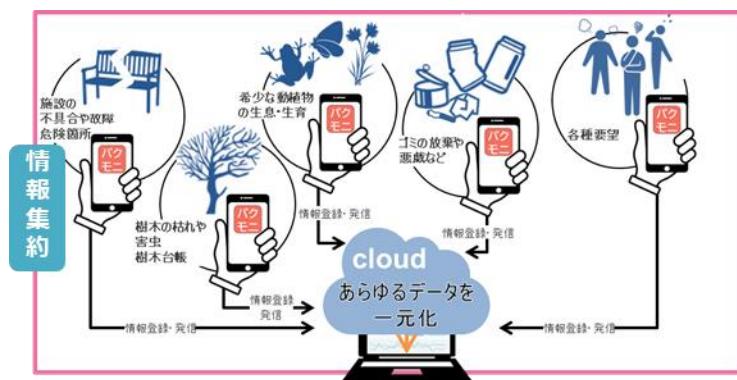


園内開放エリアマップ

○DXによる公園管理

私たちは、巡回時に発見した施設や樹木の不具合を、スマートフォンの位置情報を活用して管理所と即時に共有する独自のシステム、「パークモニタリングシステム」を開発し、西武造園グループが管理運営している都立公園で活用しています。スタッフ全員の情報共有ツールとして活用することができるため、遠隔でも適正な判断と対応が実現します。

維持管理での活用	
<ul style="list-style-type: none"> 早期発見と瞬時共有・早期対応 的確性の向上とコスト縮減 各種報告書活用による業務低減 蓄積データ分析による予防保全 等 	
活用	
利用者サービスの向上での活用	
<ul style="list-style-type: none"> 利用者要望の早期反映と改善 利用環境の改善に反映 危険箇所の早期発信と対策 等 	

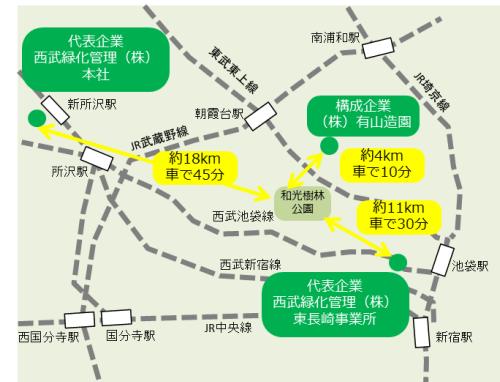


○災害時の対応

本公園と代表企業である西武緑化管理（株）の本社、構成企業である（株）有山造園の本社および事務所の位置関係は右図の通りです。

（株）有山造園は、和光市内に事務所があります。現場まで約4kmであるため10分程度で公園に到着できます。

有事の際は応援体制をとり、災害時の迅速な対応が可能です。



公園との位置関係図

○近隣施設との連携

●和光市総合体育館

和光樹林公園敷地内にある和光市の施設です。年1回以上の情報連絡会によりお客様対応や混雑対応の共有、イベント連携の協議を行っています。さらに、毎年、ヨガやウォーキング教室などを共催しています。



情報連絡会



共催しているヨガ

(7) その他

○個人情報の取り扱いについて

狭山稻荷山公園は、イベントの申し込みやボランティア活動などにおいて、個人情報を取り扱う機会があります。個人情報保護の重要性を認識し、「個人情報保護法」をはじめとした関連法令に則り、実効的な手段と定期的な研修により個人情報の保護を徹底します。

プライバシーポリシーの明示等

利用目的・・・個人情報を取得する場合、予め利用目的を明示します。

共同利用・・・グループ企業で情報を共有する場合、予めその旨を明示します。

第三者提供・・・本人の同意を得ない個人データの第三者への提供は原則禁止します。

○西武造園グループについて

国営公園から街区公園、運動公園、植物園、墓園など業界最多級の実績を有します。日本を代表する都市公園である国営昭和記念公園をはじめ、多様な規模・エリアでの管理・運営事業を展開しており、業界最多級の実績数に基づくノウハウを活かします。

利用者満足度を高める笑顔のおもてなしサービス提供と、安心・安全で質の高い管理、イベント企画・運営や地域協働、活性化やコミュニティの創出などにも貢献します。



国営武藏丘陵森林公园



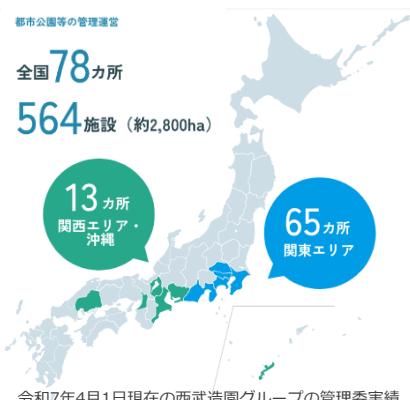
都立野山北・六道山公園



小田原フラワーガーデン



宜野湾市宜野湾海滨公園等



令和7年4月1日現在の西武造園グループの管理委実績

西武造園グループ5社

西武造園株式会社、西武緑化管理株式会社、横浜緑地株式会社、西武アグリ株式会社、株式会社ステップアウト